

第3回日本バイオマテリアル学会講座

1. 主催：日本バイオマテリアル学会
2. 協賛：日本鉄鋼協会
3. 日時：昭和 62 年 7 月 16 日 (木), 17 (金)
4. 場所：大阪歯科大学
5. 主題：バイオマテリアル製品開発のための組織培養法 (一基礎と実践一)
6. プログラム
7 月 16 日 (木) 9:00—
PART II バイオマテリアル評価法への応用
14:30~17:00

1. 金属, セラミック材料
大阪歯科大学名誉教授 川原春幸
2. 高分子材料
京都大学医用高分子センター教授 筏 義人
7 月 17 日 (金) 9:00~
7. 会費：会員 (協賛学会を含む) ￥20,000
学生会員 ￥10,000
8. お問い合わせ先：〒540 大阪市東区京橋 1-47
大阪歯科大学 歯科理工学教室
TEL 06-943-6521 (271)
幹事 武田昭二

図書案内

「低炭素鋼板研究委員会報告書」刊行のお知らせ

低炭素鋼板研究委員会編

日本鉄鋼協会 発行

B 5 判 235 頁 定価 会 員 6500 円 (送料別)

非会員 7500 円 (送料別)

低炭素鋼板研究委員会では、低濃度多元系としての薄板用低炭素鋼の Physical Metallurgy の確立を目的として、昭和 59 年 1 月から研究を進めてまいりましたが今回その成果および検討結果を「低炭素鋼板研究委員会報告書」として刊行することになりました。

本書は、侵入型溶質元素の C と N, C および N と置換型溶質元素 Mn, Cr, Si, P などの相互作用が低炭素鋼板の集合組織と性質に及ぼす効果について、dipole または complex の生成を考慮した新しい観点に立つた研究成果報告書であり、また Ti, Nb, B などの添加元素についての検討結果も加えて既存の知識を整理しており今後の薄鋼板生産技術の研究において大いに役立つものと考えております。是非ご利用下さいように御案内いたします。

(目次)

1. α 鉄における窒素の析出と合金元素 (C, Si, Mn) の効果
2. Fe-C, Fe-Mn-C 合金の焼入時効
3. 低炭素鋼の変形・回復・再結晶に対する転位と溶質原子の相互作用の効果
——Mn-C ダイポール等を念頭に——
4. 冷延鋼板の再結晶集合組織におよぼす C, N の影響
5. 低炭素鋼板の回復・再結晶と再結晶集合組織形成におよぼす炭素の影響
6. 低炭素鋼における置換型固溶原子-侵入型固溶原子ダイポールの生成と消滅
7. 冷延鋼板の深絞り性におよぼす炭素と置換型溶質元素の複合効果
8. 低炭素鋼板の再結晶集合組織におよぼす P, Mn 複合添加の効果
9. 極低炭素鋼板の深絞り性に及ぼす Nb, Ti 添加の効果
10. 低炭素冷延鋼板の深絞り性および粒界破壊におよぼすボロン添加の影響
11. 連続焼鈍材の $\bar{\epsilon}$ 値に与える熱延巻取温度の効果
12. 低炭素鋼のアルファ固溶体相中に生成する Mn-C ダイポール
13. 低炭素鋼冷間圧延板の集合組織と微視的ひずみ

申込方法

次のいずれかの方法でご送金願います。

- ・現金書留、・郵便振替 (東京 7-193 番)
- ・銀行振込 (第一勧業銀行・東京中央支店 (普) No.1167361)

問合せ先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4

経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会庶務課 水野

電話 (03) 279-6021